

研修の様子【概要】

研修名	みんな集まれ！しまねの社会教育キックオフ講座（浜田会場）																				
日時	令和7年7月9日（水）																				
場所	地場産業振興センター																				
テーマ	～“集って”“楽しむ”からの動きをつくる～																				
日程	<table><tr><td colspan="2">9:00 9:30</td><td colspan="3">12:00 13:00</td><td colspan="2">15:30</td></tr><tr><td>受付</td><td>開講行事</td><td>【講義】 社会教育の概要としまねの社会教育</td><td>【実践発表等】 社会教育の 実践から学ぶ (実践発表/ふりかえり)</td><td>昼食休憩</td><td>【演習】 自分にできることを 社会教育の視点 で考えよう！</td><td>閉講行事</td></tr></table>							9:00 9:30		12:00 13:00			15:30		受付	開講行事	【講義】 社会教育の概要としまねの社会教育	【実践発表等】 社会教育の 実践から学ぶ (実践発表/ふりかえり)	昼食休憩	【演習】 自分にできることを 社会教育の視点 で考えよう！	閉講行事
9:00 9:30		12:00 13:00			15:30																
受付	開講行事	【講義】 社会教育の概要としまねの社会教育	【実践発表等】 社会教育の 実践から学ぶ (実践発表/ふりかえり)	昼食休憩	【演習】 自分にできることを 社会教育の視点 で考えよう！	閉講行事															
内容	【講義】「社会教育の概要としまねの社会教育」 浜田教育事務所 社会教育スタッフ企画幹 竹田 進吾 1. 社会教育の基礎知識 2. しまねの社会教育 3. 社会教育を進める人・支える人 4. 社会教育を進めるみなさんへ 【実践発表】社会教育実践から学ぶ 「お月見どろぼう～若手部の活動～」 浜田市岡見まちづくりセンター 主事 河野 晋哉 氏（R6年度公民館等職員研修受講生） □事業のねらい ・まちづくり推進委員会「若手部」の活動が活発になるきっかけとした。 ・今後の参加を期待して保護者に「若手部」を認知してもらう。 ・子どもたちに非日常の楽しみを体験してもらう。 □工夫したこと ・雑談から話しやすい雰囲気づくりをした。 ・適度な距離感で話せる机の配置を意識した。 ・議事録はホワイトボードで共有した。 □主体性が高まったこと ・協力団体が自作でパネルシアターを制作した。 ・事業実施前に熊が出没したが、「若手部」は安全対策を主体的に考え行動した。 □成果 ・活動をとおして「若手部」への新たな参加者が増えた。 ・アンケートから今後してみたいことが見つかった人がたくさんいた。 ・保護者間の交流の場にもなった。 【演習】「自分にできることを考えよう！」 ◇住んでいる(勤務している)地域の現状(良さ・課題)を 付箋に書き、グループで紹介し合いパネルに貼る。 ◇地域が10年後どうなっているとよいかを付箋に書き、「理想の地域像」を紹介し合う。 ◇「理想の地域像」を実現するために何が必要か、何ができるかを考える。実際に取り組みそうなものを丸で囲む。 ◇他のグループが書いた内容を見る。 ◇グループで、「あなたができそうなこと」、「やってみたいこと」を発表し合う。 【ふりかえり】 研修をふりかえって、心に浮かんだキーワードを書く																				
受講生の感想 (アンケート一部抜粋)	・社会教育「人づくり（夢見る大人を見ることで、素敵なお夢をもった大人に育つ）」を目指して学校と地域をつなげるサポートをがんばりたいです。 ・まずは小さなことからトライしてみたいと思った。サポートをしながら住民にしっかり活動してもらい活躍の場をつくり、スキルアップできるよう、仕事を頑張りたいと思います。 ・社会教育の奥深さ、難しさも実感したところです。常に学んでいかなければ、積極的にいろんな機会に参加して糧にしていかなければならないと感じました。 ・志を同じくする他の地域の方と話すのは、良い学びになって楽しかったです。自分が今、考えていることを肯定してもらえ自信と意欲につながりました。 ・社会教育はとても広いですが、「目的・ねらい」をはっきり持ち、「暮らしを楽しむまちづくり」に向かってみたいと思います。																				